

今、世田谷が抱えている問題点と解決策

成城地区

地区住民によって策定されている「成城憲章」を尊重して、世田谷区の歴史的資産でもある屋敷林や歴史的建造物を含めた良好な居住環境の保全を図るため、税制の改革や大型マンション開発の規制を促進する。地区内の都市計画道路事業については、必要性や費用対効果を精査し凍結する。マンション開発事業には応分の開発改善負担金を課し、緑と文化のまちづくりへの貢献を求める。

下北沢地区

都市計画道路補助54号線の必要性、費用対効果を厳密に精査するため、事業を凍結する。区道10号線および駅前広場の必要性とデザインについては、関係者間の合意形成を図り、全面的に見直す。小田急線跡地の利用方法については、東京都、世田谷区、地域住民、商業者、来街者、鉄道企業を入れたラウンドテーブルを設置し、避難機能、緑地環境、芸術文化振興に配慮した合意形成を図る。

国分寺崖線及び外環道路

武蔵村山市から国分寺市や調布市を経て、世田谷区や大田区へ連なる河岸段丘には、豊富な斜面緑地が残され、野川とともに貴重な環境資産となっている。土地所有者への税制の改革や大型マンションの規制を含めた、緑地保全の施策の早期確立を図る。また、国分寺崖線下に計画されている大深度による外環道路は、地下水や希少な動植物などの自然環境への影響を徹底的に精査し、十分な対策が講じられるまでは、事業を凍結する。

等々力地区

23区内唯一の渓谷である等々力渓谷は重要な世田谷区の環境資産である。「大井町線急行化計画」と「等々力駅地下化工事」については、技術的な解決方法を精査すると同時に、関係者間の合意形成を図る。

二子玉川地区

「二子玉川東地区市街地再開発」については、多摩川沿いの開放された景観や国分寺崖線の豊かな緑の保全に配慮した計画として周辺住民の合意を得るまで事業を凍結し見直しを図る。また、行政側が現在まで行ってきた再開発事業決定の手続き及び公費投入の対応を精査し、必要な措置を講ずる。

世田谷区街づくり条例の見直し

大型開発の多発による地域への影響を回避・低減するために、土地取引の事前届出、区・事業者・住民間での事前協議・調整システム、開発アセスメントなどを盛り込んだ「世田谷区街づくり条例」の見直しを図る。また、まちづくりを進めるにあたっての住民参加の理念の徹底を図る。なお、街づくり条例の見直しは、住民参加で進める。

